

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	憲法（Constitution）					担当教員	江部 誠一 （エベ セイイチ）		
科目コード	2013011-032								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>社会人としての必要な日本国憲法の知識を身につけるとともに、現在、身近に起こっている問題・課題を憲法の観点から説明できるようにする。</p> <p>また、公務員試験合格に必要な基本的知識を取得する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢／職業人として適用する能力／情報収集・分析力									
③ 授業の進め方・指示事項									
本授業はオンライン(同時双方向型)形式で行い、指定テキストに沿って進行する。進捗が早いので予習・復習が必要である。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
現在の社会・経済行動で憲法に係る問題・課題について注視することが望まれる。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i)日本国憲法の基本や特徴について理解し説明することができる。</p> <p>(ii)日本国憲法の人権に関する理念について基本的な知識を習得する。</p> <p>(iii)日本国憲法の統治機構に関する規定について基本的な知識を習得する。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
「公務員試験過去問題攻略 V テキスト憲法」（TAC 出版）									
⑦ 参考図書・指定図書									
必要に応じて紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合		30%		40%		30%		100%
(i)憲法総論		10%		10%		10%		30%
(ii)憲法人権		10%		15%		10%		35%
(iii)憲法統治機構		10%		15%		10%		35%
フィードバックの方法	前期末試験、小テストは採点后返却して解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生自ら考え行動してもらいたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス、憲法総論			分
2	基本的人権Ⅰ 総論	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
3	基本的人権Ⅱ 総則的権利	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
4	基本的人権Ⅱ 総則的権利	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
5	基本的人権Ⅲ 精神的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
6	基本的人権Ⅲ 精神的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
7	基本的人権Ⅳ 経済的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
8	基本的人権Ⅳ 経済的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
9	基本的人権Ⅴ 社会権・受益権・人身の自由	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
10	統治Ⅰ 統治総論・国会	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分

11	統治Ⅰ 統治総論・国会	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
12	統治Ⅱ 内閣	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
13	統治Ⅲ 司法権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
14	統治Ⅲ 司法権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
15	統治Ⅳ その他の問題	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用し、各内容についてオンライン講義を進めていく。テキストによる講義で自ら社会・経済の問題・課題の発見力を養う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

金融機関、法律経済総合事務所勤務経験あり。現在、経営コンサルタント事務所代表として活動中。「中小企業診断士」「医業経営コンサルタント」資格を有している。

実務経験と授業科目との関連性

金融・法律・経済・経営知識をもとに行った種々の支援・相談から、憲法に係る問題・課題について、わかりやすく説明する。